

消防団たずね歩き

分団広報担当者制度

神戸市消防協会のホームページが開設され10年が過ぎ、長田消防団もこれまでに消防団活動や地域の防災活動等について、このホームページをとおして紹介してまいりました。そしてこのホームページの運営を支える一員として広報担当という職務があり、昨年4月から長田消防団の3代目の広報担当者として私が推薦され着任させていただきました。

着任の際、仕事の引き継ぎと同時に歴代担当者から「一人での広報担当活動は非常に大変だったよ」と話題が上がったので、詳細に何うと、「消防団が参加する防災行事の詳細が事前に把握できなかったり、開催日が重なって取材できなかった」「各分団独自での活動がわからない」「一区内といっても移動手段が大変で活動できる地域が偏った」など数々の体験談が挙げられました。それをきっかけに前担当者と団本部の方たちと一緒に意見を交わす場をいただいた結果、長田消防団で、各分団に広報担当者を配置するという分団広報担当者制度を立ち上げることとなりました。



これは、それぞれ

の分団でおこなわれる消防団活動や地域防災イベントなどを各分団で選任された分団広報担当者が取材し、その報告を独自のネットワークで共有するほか従来の広報担当者(統括広報担当者)が、報告をピックアップし協会ホームページで紹介していくという方法です。

実際に、この制度の下で活動を開始していくと、消防団内で、多くの活動が展開されていることがリアルにわかり、それをきっかけに各分団の活動がさらに活発になり、団本部や各分団との距離がこれまで以上に近くなったと感じられました。また、単に広報活動のみならず、分団広報担当者を通じ、団本部と各分団とが一斉に情報共有できる場が増えたことから、厳正なルールのもと、水防時限定で、災害情報を素早く団指揮本部に送ることも可能となりました。

分団広報担当者制度もあと少しで1年を迎えようとしています。まだまだ検討していかねばいけない課題もありますが、多くの可能性が期待できるようになりました。

このつながりを大事に今後も分団広報担当者の皆さんと一緒に長田消防団の広報を頑張っ

て伝えていきたいと思

います。(長田消防団広報担当 柴田大輔)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

